

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年3月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4678600125
法人名	社会福祉法人 潤生会
事業所名	グループホーム ひまわり
所在地	鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋瀬久井8番地3 (電話) 0997-73-1311
自己評価作成日	令和2年2月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL <http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年3月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

グループホームひまわりは、平成16年1月に立ち上げ今日に至っております。古仁屋市街地から、東の方向瀬久井地区の山裾に、楕円形のドーム型で作られ、側には大きな母体施設（養護老人ホーム）が建っております。部屋には洗面所、トイレが設置され、ホールは、食堂と活動の場が一つになっており、住み良く、9室が一望出来る様に作られております。入浴は週3回実施、希望や状況に応じていつでもお風呂は使える状態にあります。お風呂のない日は、余暇活動の場を設け、自立した日常生活を営む事が出来るよう、リハビリを目的とした体操、平行棒を使っての運動を取り入れております。

お食事は母体施設の栄養士の献立に沿って、職員手作りの食事を楽しんでおり、周りに実ったバナナは食卓を賑わせてくれます。

私達は利用者の意思及び人格を尊重し、明るく家庭的な雰囲気の下、地域や家族との結びつきを大事にする様努めています。

晴れた日の日曜日は職員と利用者で日光浴を兼ね、道路の清掃作業に励み野鳥のさえずりは、時にはうるさく聞こえたり、又幸せを感じたり季節感を表しさわやかです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・毎朝事業所の理念を唱和し、一日の目標をたて、事業所理念に掲げている個々の力量に合わせた日常生活ができるよう支援している。
- ・地域との繋がりを大切に、夏祭り・運動会・クリスマス会など、地域住民に呼びかけている。七夕飾りは、子供会や親子で参加し利用者と一緒に作品作りや飾りつけなどを楽しんでいる。毎週日曜日には事業所近くの道路清掃なども地域の一員として参加するなど日常的に交流を行っている。子供110番を掲げ、学校や生徒との交流もできている。
- ・身体拘束をしないケア、プライバシーの確保の研修など母体施設の職員研修に参加し、事業所研修を含み年4回実施している。
- ・職員の意見や提案で勤務内容や勤務体制の改善、ケアのあり方の工夫なども運営に反映している。
- ・災害対策は山崩れや川の氾濫などを想定し、避難場所までの移動する訓練を行っている。
- ・誕生日にはケーキを作り季節の果物を飾りつけ、お月見には園庭で団子を飾りミキを飲むなど、食事を楽しむ支援を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝、朝礼で事業所理念を唱和、職場の教養から感想を求める意義や役割を話合い実践に繋げるようになっています。	毎朝事業所の理念を唱和し、一日の目標をたて、利用者の個々の力量に合わせた支援を共有し実践に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	母体施設を中心とした祭りや運動会で地域との交流を密にし、子供会との七夕作りや110番を掲げ、ひまわりのあり方を広め協力を求めています。	母体施設と一緒に夏祭り・運動会・クリスマス会などを行い、地域住民に参加を呼びかけている。七夕の飾り作りは子供会と一緒に作ったり、事業所は子供110番として、学生との交流もある。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	施設見学や入所申し込みの方達又、徘徊でホームから無断で出ていく方、グループホームのあり方や家族の接し方等を伝え協力を呼びかけています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月事に行い河川の除草作業等の依頼や感染症の面会のあり方等助言を頂き実践に繋げています。	運営推進会議を定期的に開催し、除草作業をお願いしたり、感染症流行時の面会や家族からの食品の持ち込みなどの対応を運営推進会議で話し合い、アドバイスを受け、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	職員はケア会議に毎回出席、事例をあげてアドバイスを受け、ひまわり会議で報告をし協力関係を築く様にしています。	行政主催のケア会議が月1回開催し参加している。事業所の困りごとなども事例をあげアドバイスを得ており、町の担当職員との協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束はやってはいけないと職員は受け止めている、母体施設で勉強会を開き、専門職の方の研修会も母体施設でもたれ、全職員に正しく理解が出来る様広めています。	身体拘束に関するマニュアルがある。母体施設での研修を含め年4回実施している。身体拘束にあたるのか不安に思うときはケア会議で検討し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。徘徊のある利用者には見守りながら一緒に散歩するなどの支援を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体拘束同様、専門職の勉強会を母体施設で開いた、多くの職員が知識を広めることが出来る様夜間帯を用いての勉強会、セクハラ、パワハラの事が詳しく理解出来た勉強会でした。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	昨年権利擁護の勉強会にほとんどの職員が参加出来知識を得ております。施設にも制度を利用している方もおります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約に関しての説明は相手が納得出来るように説明しております。分からぬ事は遠慮無く聞いて下さるよう、特にリスクを背負った方達の契約です、時間を掛けて説明する様心がけております。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	職員は、常に利用者とコミュニケーションを取り、本人の思いを聞き出し家族にも伝える様にしている、クリスマス会は担当職員と同じ食卓を囲み、楽しい雰囲気を持つ事が出来ています。	利用者とは日々の暮らしの中で思いを把握している。家族からは訪問時や電話で要望を聞いている。クリスマス会では利用者の担当している職員と一緒に食事を取り、意見や要望が聞ける雰囲気づくりをして、意見を反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	事業所の運営に関しては月一度の潤生会職員会、ひまわり職員会等で意見や提案をして、聞く機会がもたれ反映されています。	職員会議を毎月開催し、職員体制の改善やケアのあり方・拘縮のある利用者へのポジショニング法や誘導支援時の注意点・七夕についてなど、職員の意見が反映している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者は常に職員に気を配り、個々にねぎらいの言葉を掛け励ましてくれます。職員が笑顔で仕事が出来ているのも代表者の気配りがあるからでしょう。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>代表者は常に資格を持つ事の大変さを伝えて降ります。事業所内の研修会も多く持ち、多くの職員が参加出来る時間帯を研修の場として考慮しております。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同業者との交流の日程は中々組めない現状、月一回の地域包括支援センターや会議に職員が出向き、その中の意見交換を事業所の会議で報告して質の向上に向けています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用は家族や地域の方達の勧めによる物が多くあり、本人も戸惑いを見せる事が多々ある。本人が納得し安心して利用が出来る様家族に御願いしております		
16	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族、本人との面談の中で、困っている事不安な事を聞き取り安心して生活できる様また信頼関係が築ける事が出来るよう努めています。		
17	○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	早急に対応が必要な時は可能な限り即対応を行うなど状況に応じて対応が出来る様にしています。		
18	○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	いろいろな事を教えて貢ったり手伝って貢う事で「役に立てている」という実感を持ってもらう。また談話にて良い関係が築づける様にしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族と会えない寂しさ、家に帰りたい気持ちを理解し、安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいます。寂しさが増す時は電話を掛けたり出来るようにしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の面会や自宅への帰省、お墓参り、行き付けの理美容院、時にはイベントなどに参加今迄の本人の暮らしをサポートしています。	墓参りや自宅に立ち寄る事、馴染みの理・美容室に行くなどしている。家族や友達・親戚などの面会、携帯電話での会話など、馴染みの関係が途切れないような支援を行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	テーブル席は気の合う同士を隣席に、お互い話しが出来、孤立しない様にして居ます。また活動を積極的に取り入れ、楽しみを作り、目標に成ることを増やすよう心がけています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所された方、家族はメールで交流、1年立っても2年過ぎても続くようにしております、墓参で帰省された子供達もひまわりに来て思い出などを語り合い時間を過ごしております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲその人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	家も無い金も無いと発する利用者の自宅方向に本人を乗せ、車を走らせた、車窓から景色を見ていた時「ここが私の家だ戸が閉まっている」と言った。嬉しそうな声でした。	ドライブの車中の会話で思いが把握できる事がある。自宅近くに行くと嬉しそうに会話が弾み、表情や行動で把握し、職員で共有している。意思疎通が困難な利用者には家族と話し合うなどして本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初期の中で生活暦、家族関係、病歴や状態を職員全体で共有しサービスに努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	自分で出来る事、出来ない事を把握しましたその人の価値観や信念、こだわりを大切に見守り意欲の持てる支援をしています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者が、自分らしく暮らし、意欲を持つ事、を大切に、また医療機関からの情報を設け、職員や家族と一緒に計画を作っています	家族の思いや意向などを面会時に把握し、ケア会議で担当職員や主治医からの情報提供などを取り入れながら介護計画を作成している。モニタリングは毎月行い、状況に応じた支援計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	ケア記録他に食事、水分、排泄バイタルの確認が一目でわかる記録表を用い、申し送り帳の活用も活かし記録に残しています。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	昼夜にかかわらず、病状変化が観られたら、早めの受診で対応しています。		
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	天気の良い日は利用者と一緒に日曜作業に参加、無断で外出して居る方への声掛けや施設への知らせで初期の内に対応が出来た事もあります。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	訪問診察など本人や家族のかかりつけ医で受診出来る様にしています。急に体調変化が起き家族が同行出来ないときは職員が対応し、家族に報告して居ます。	かかりつけ医は入所時に把握し支援している。受診に家族が行けない時は事業所で受診支援し、家族に状態を報告している。訪問診療の結果は毎月の便りで家族に伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31	○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調、表情の変化を見逃さない訪問の看護師、母体施設の看護師と常に連絡を取り合い早期対応に努めています。			
32	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院退院時は、情報提供により情報交換を常にとり、早期退院にむけて取り組んでいます			
33 12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	利用開始時、重度化に成った時の説明に加え、医師の方からも家族へ説明して貰っています。終末ケアの経験を今後も生かし最後までひまわりで過ごしていくことを目指しております。	重度化や終末期については契約時に説明を行っている。段階的に主治医から家族へ説明している。家族の協力と医療機関の連携で看取りケアの支援に取り組んでいる。		
34	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急救手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けています	AED使用法を学び慌てない行動に移す訓練を母体施設で合同で学び、独自でも講習会に参加し初期対応が出来る様にしている定期的に学び身に付けていく。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防職員の立ち会いの下避難訓練を実施した。地震が起き山が崩れた、川が氾濫する寸前にある事を想定し利用者と職員全員で母体施設迄移動し、時間が10分掛かった事体験した	年2回消防職員の指導を受け火災避難訓練を行っている。地域の方の協力体制もできている。事業所の近くで山崩れや川の氾濫などを想定し、自主訓練を年1回実施し避難場所までの移動訓練を行っている。備蓄は飲料水や食料品・缶詰・ラーメン・おにぎりなどの準備がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	私達職員は利用者の皆さんを人生の先輩として尊敬し、本人の気持ちを大切にして、一人ひとりに合わせた言葉掛けをするよう努めています。	プライバシー確保の勉強会を年4回実施している。人生の先輩として敬うこと、その場に応じた言葉かけなど、プライバシーを損ねないように対応している。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	利用者にあわせた声かけをし、意思表示の困難な方は表情などでくみ取りあくまでも自分で決める場面を作っています。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	1日の基本的な流れはあります、本人優先で、個々の体調に配慮しながら対応しています。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	朝の着替えはあくまでも自分で決め、見守りや支援の必要な方は職員が一緒に考え支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	栄養士の献立が主に成っているが、寒い日暑い日は利用者の要望に応え、献立変更も常にある 昼食は職員も一緒に頂き、片付けは利用者の協力も得ています。	食事は母体施設からの献立で提供している。台拭きや食器並べなど職員と一緒に行っている。 誕生日のケーキに季節の果物などの飾りつけをしたり、園庭でのお月見で団子をたべたり、ミキを飲んだりして、食事を楽しむ支援を行っている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の体調と、食事、水分の摂取は特に気を付けている、残食が無いよう職員の見守りの下摂って貰う事もある、水分は1日1500～2000を目安にしています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後残渣物が残らないようその人の力に応じて、歯磨きの手伝いをしている。義歯の方は就寝時に洗浄液に付け対応しています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェック表を用いてトイレ誘導や介助を行っています。布パンツを使って居る方、夜間だけ紙パンツを使用されて居る方は、夜はトイレの近くにベッドを寄せ移動距離を短くして介助見守りをしています。	個々の排泄チェック表でトイレ誘導をしている。自室にトイレがあるので使用がスムーズにできるような工夫を行い、排泄の自立に向けての支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を用い便が3~4日確認出来ない時は、主治医から処方されている便秘薬を使用する事もある。運動や水分補給の徹底に努めています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週3回と一応曜日は設定されています。入浴時間帯は本人の希望に添うよう工夫し、いつでも入浴出来る様にしています	入浴は週3回であるが、本人の希望で変更している。好みでシャワー浴も支援している。拒否の利用者には時間をづらしたり、気分転換の声かけをするなどして、個々に応じた入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のペースで午睡をしたり夜の眠りに携わりの無いよう活動にも配慮しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	誤薬や飲み忘れが無いよう処方された時に日付を入れる。投薬時は飲み込んだのを確認して居る。薬の内容を全職員が把握出来る様に個々にファイルをし、目の届く所にあります。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食後の片付けやテーブル拭きなど当番制で御願いしたり、体操時は先生を職業にした方に先頭に立ってもらい号令で体操を行うこともある。			
49 18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	庭に花を植える楽しみ、観る楽しみと一緒に持ち、月一度は母体施設の誕生会に出かける。お盆は、故郷巡りで、先祖に手を合わせ事ができた、昨年元気に迎えてくれた弟は今年は寝たままで言葉も交わす事が無かつた。来て良かったと言った。	日頃は近隣の散歩をしたり、庭の花の手入れや水やりなどをしている。母体施設での誕生会に出かけたり、日曜日の事業所近くの清掃作業に参加など、外出支援を行っている。家族が外食に連れだしたり、年2回は遠出のドライブや花見などに出かけている。		
50	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の中でお金や通帳を所持出来て居る方はいない、金銭の所持に付いては家族に任せている、預かり金はオムツ購入等必需品に限り一月事に報告しています。			
51	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	毎月個々に、生活状況や受診時の状況報告をかねた請求書を送付している、携帯電話所持者もいて常に家族と連絡を取っています。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各部屋はトイレ洗面所がカーテンで区切られ、冬は加湿器を置き湿度調整も出来ています、職員は臭いの無い施設を目指し今日に至っています。広いホールはレクやリハビリ運動の場としてみんなで楽しみの場として保たれています。	共用空間は広くて明るい。空調管理がされている。壁には行事ごとの写真や職員と一緒に作った貼り絵が飾られている。職員と一緒にぬり絵を楽しんだり、個々の居場所で寛ぎ居心地よく過ごせるよう工夫されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	車椅子利用者が自由に行き来出来る広さがあり、玄関には大きな炭が置かれ、平行棒も自由に出来る空間がある。その中でテレビと一緒に観たり、レクレーションを楽しみ、個々の趣味を大事にする様努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた日用品や家族の写真を置き、安心して生活が出来る様支援しています。	使い慣れた家具やタンス・衣装ケース・衣類・位牌などを持ち込んでいる。子供や孫の写真に名前入りで壁に飾ったり、本人が居心地よく過ごせる工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	在宅での生活と同じ環境に近づけるよう施設に置いてもトイレ、ベッド位置、空間をその人に合った生活の場を提供し、安全で自立した生活を目指し支援して居ます。		

V アウトカム項目

		<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目 : 23, 24, 25)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目 : 18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目 : 38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られて いる。 (参考項目 : 36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目: 49)	<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目: 30, 31)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目: 28)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目: 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	<input type="radio"/>	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に 1 回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		<input type="radio"/>	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		<input type="radio"/>	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない